

ここ数年、地球規模で気候変動が起こっています。七月には、台風が異例のコースを辿り東北地方に上陸しました。新型コロナウイルスも四度目の緊急事態宣言発出にも関わらず、「目を覆いたくなるような惨状」で、当地でも連日感染者が多数出ており、医療崩壊にもなりかねません。八月はお盆月とも言われ、祖先の霊を祀る行事が行われます。日本人の家庭の宗教は九割近くが仏教です。仏教には元来、祖先を供養するという教えはありませんでした。しかし、仏教が日本に伝来し、日本民族の固有の信仰である神社神道の祖霊祭祀を取り入れる事で、広く布教されていきました。迎え火を焚き、祖先の霊をお迎えし、親類・縁者が集って祖霊をもてなし、送り火を焚いてお送りします。最近は少なくなつた「盆踊り」や観光化している「花火」（今年もコロナの影響で中止が相次いでいますが）も祖霊を慰める行事です。「祖先を大切にし、祖先を偲ぶことが人間として最も大切である」という日本人の心に根ざした信仰を子や孫の世代に伝えていく事が、欧米化した物質主義から日本人らしさを取り戻すためには大切な事です。

今月の行事

- 一日 八朔（田の実の節句||初穂献上）
- 七日 立秋
- 八日 山の日（祝日） 一三日 盆・迎え火
- 一五日 終戦記念日
- 一六日 盆・送り火 戦没者慰霊祭（玉崎神社・慰霊塔 七時〜）
- 一九日 海匝銚支部神職会議
- 二三日 処暑
- 三一日 二百十日（風祭）

*玉崎神社 正月例祭（一月十五日）の御的^{おまとしんじ}神事で、
年の後半は「風を侮るべからず」の御託宣^{ごたくせん}。
蜂の巣も低い所に掛けられており、台風に注意！

